

ジオパークにおける「持続的な発展」とは何か? - 室戸の人々の「語り」を通して - What is "Sustainable development" in terms of Geopark -Through Local People's Story-telling in Muroto-

柚洞 一央^{1*}

YUHORA, Kazuhiro^{1*}

¹ 室戸ジオパーク推進協議会

¹ Muroto Geopark Promotion Committee

日本のジオパークでは「世界認定」という地域のブランド化が目的になっている側面がある。ジオパーク実践導入の動機としては悪くはないが、GGN加盟後の実践活動を推進していく上では、ジオパーク本来の理念や目的の深い理解がなければ、持続的なジオパーク実践は不可能である。また、議会や行政サイド、マスコミ報道では、ジオパークの経済効果ばかりが目されている現状もある。ジオパーク実践による数値化できない効果が、十分に理解されているとはいえない。

これらの背景には、ジオパークの基本理念の中にある“sustainable development”というキーワードの解釈の問題があるのではないかと。一般的に「持続的開発」「持続的発展」などと訳されるこの概念は、さまざまな分野で展開されており、今後のグローバル社会のあり方の方向性を示す、重要な概念の一つである。

しかし、日本のジオパークにおいては、“sustainable development”について十分に広く議論されているとはいえない状況がある。ましてや、現場で実践業務に当たる行政サイドにおいては、この概念の存在すら認識されているとはいえない。ジオパーク実践の現場では、「ジオパーク＝地域活性化」と安易な解釈がされているのが実情であり、数値化できる活性化、特に経済効果のみが取りざたされている実態がある。

そこで本発表では、室戸における住民の「語り」を通して、室戸住民にとっての“sustainable development”とはなにか、実証的な視点から考察し、ジオパーク実践の意義と目的を熟考する契機としたい。

キーワード: ジオパーク, 持続的発展, 語り, 室戸

Keywords: Geopark, Sustainable development, Storytelling, Muroto